

話題のヨーロッパ映画をオンライン配信でお届けします。

会期 **2020年6月12日(金)～25日(木)**

配信 **<https://aoyama-theater.jp/>**

ご視聴には会員登録(無料)が必要となります
視聴方法および購入・視聴可能期間など詳細は青山シアターのウェブサイトをご覧ください。

料金 ① **1作品:300円(税込)**

■購入可能期間: **6/12日～25日** ■視聴可能期間: **購入後72時間**

※「バルバラ セーヌの黒いバラ」「メモリーズ・オブ・サマー」は、**6/12日～18日**、
「ブレンダンとケルズの冒険」は**6/12日～16日の期間限定販売**になります。

② **プログラムパックA～F:各500円(税込)** お得

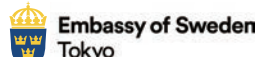
■購入可能期間: **6/12日～23日** ■視聴可能期間: **購入後120時間**

※ **Fプログラムのみ、6/12日～18日の期間限定販売**となります。

③ **「ファイナル・カット」無料配信**

■提供期間: **6/12日～25日** ■視聴可能期間: **購入手続き(0円)後72時間**

「青山シアター」とは、映画配給会社ギャガが運営する動画ポータルサイトです。PCやスマートフォンで、いつでも、どこでも、自由に映画を楽しむことができます。



【企画協力】 国立映画アーカイブ 【宣伝広報】 33BLOCKS

EUフィルムデーズは、日本との市民交流の促進を目的として毎年5月に行われる「日・EUフレンドシップウィーク」の一環として開催されています。



EU FILM DAYS ONLINE

EU フィルムデーズ 2020 オンライン

2020年 6月12日(金)～25日(木)

配信: 青山シアター <https://aoyama-theater.jp/>

【主催】駐日欧州連合代表部および在日EU大使館・文化機関「アイルランド大使館 イタリ
ア大使館/イタリア文化会館 オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京 オ
ランダ王国大使館 ギリシャ共和国大使館 クロアチア共和国大使館 スウェーデン大
使館 スペイン大使館/セルバンテス文化センター東京 スロヴェニア共和国大使館 チェ
コ共和国大使館/チェコセンター東京 ドイツ連邦共和国大使館/ゲーテ・インスティトゥ
ート東京 ハンガリー大使館/ハンガリー文化センター フィンランド大使館 フランス大使
館/アンステイチュ・フランセ日本 ブルガリア共和国大使館 ベルギー王国大使館/ア
ーツフランダース・ジャパン/ベルギー王国フランス語共同体政府国際交流振興庁(WBI)
ポーランド広報文化センター/ポーランド共和国大使館 ポルトガル大使館/カモンイス言
語・国際協力機構 ラトビア共和国大使館 EUNIC-Japan (在日EU文化機関)
【企画協力】 国立映画アーカイブ 【宣伝広報】 33BLOCKS

www.eufilmdays.jp 映画で旅するヨーロッパ

www.facebook.com/eufilmdays @eufilmdays eufilmdays



EU フィルムデーズ 2020 オンライン

映画で旅するヨーロッパ

EU フィルムデーズ 2020 オンライン

映画で旅するヨーロッパ

A ヨーロッパの遅しうしなやかな女性たち

バックは6月12日〜23日

初

メルテム — 夏の嵐

Meltem

ギリシャ

作品単独：6月12日〜25日

監督：バシル・ドガニス
2018年／フランス、ギリシャ／90分
フランス語、ギリシャ語、
英語（日本語字幕）

母の死から1年後、ギリシャ系の若いフランス人女性エレナが、友人のナシムとセクーと一緒にギリシャのレスボス島に戻る。同世代のシリア人亡命者、エリアスとの出会いによってエレナ達の運命が大きく変わることになる。

初

ルーザーとしての私の最後の年

Ne bom več luzerka / My Last Year as a Loser

スロヴェニア

作品単独：6月12日〜25日

監督：ウルシャ・メナルト
2018年／スロヴェニア／88分
スロヴェニア語（日本語字幕）

大学で美術史を専攻したシュペラは、卒業後も安定した職に就けなideい。仲良かった友人はみなよりよい生活を求めて国外に出て行き、彼女ひとりリュブリャナに留まっている。仕事もなく、ひとりぼっちで、ついには寝泊まりも両親の家のソファという29歳の女性の生活を描いた、若い女性監督のデビュー作にして自伝的作品。

フリア IST

Julia ist

スペイン

作品単独：6月12日〜25日

監督：エレナ・マルティン
2017年／スペイン／90分
スペイン語、カタロニア語、
ドイツ語（日本語字幕）

建築学を学ぶ21歳のフリアはベルリンへ行くことを決意する。そこで生まれて初めて一人ぼっちになってみると、自分ひとりが取り残されたように感じてしまい、故郷とは文化が大きくかけ離れた大都市ベルリンで新たな人生を歩むという挑戦に彼女は立ち向かうことになる。

初

ヨハンナ・ドーナール 女性大臣・フェミニスト

DIE DOHNAL - Frauenministerin/Feministin/Visionärin JOHANNA DOHNAL - Visionary of Feminism

オーストリア

作品単独：6月12日〜25日

監督：ザビーネ・デルフリンガー
2019年／オーストリア／104分
ドイツ語（日本語・英語字幕）

オーストリアの歴史における重要な女性であり、ヨーロッパの国の政府の最初のフェミニストのひとりヨハンナ・ドーナールへのオマージュ。彼女は、現代の、そしてこれからの世代の人々のロールモデルとなろう。ときに勝利し、ときに失敗もする彼女の姿に、我々は自分自身を見出す。

初

ビツレ

Billie

ラトビア

作品単独：6月12日〜25日

監督：イナエラ・コルマネ
2018年／ラトビア、リトアニア、チェコ
110分／ラトビア語（日本語字幕）

のちにヨーロッパの有名な詩人・作家となる少女の、大人への成長を描いたほろ苦くも感動的な自伝的家族物語。ノーベル文学賞候補となったピズマ・ベルシェヴィツァのベストセラー小説をもとに、子供のころの悲しみと興奮を大きなスクリーンへ届ける。監督は「ルッチと宜江」（EUフィルムデーズ2016上映）のイナエラ・コルマネ。

欧州連合（EU）加盟国の在日大使館・文化機関が提供する作品を一堂に上映する、ユニークな映画祭で、上映される作品はヨーロッパの映画製作者の幅広い才能を披露するとともに、EUが重視する文化的多様性をさまざまな表現で映し出しています。18年目となる2020年も、多くのEU加盟国作品の紹介を予定していたものの、新型コロナウイルスの感染拡大の防止とお客様の安全を考慮する観点から、東京、京都、広島での開催は残念ながら中止となり、「EUフィルムデーズ2020オンライン」と題したオンライン映画祭を青山シアターにて特別開催することとなりました。EUフィルムデーズ2020オンラインは、EU加盟国より20カ国が参加、日本未公開作品（7作品）や過去のEUフィルムデーズで好評いただいた選りすぐりの作品など、全21プログラムの配信となります。

ジョゼとピラール

José e Pilar / José and Pilar

ポルトガル

作品単独：6月12日〜25日

監督：ミゲル・ゴンサルヴェス・メンデス
2010年／ポルトガル、スペイン、ブラジル
117分／ポルトガル語（日本語字幕）

新型コロナウイルスが猛威をふるった今春、疫病小説が注目を集めた。中でもジョゼ・サラマーゴの『白の闇』は各国で多くの読者を獲得した。本作はポルトガル語圏唯一のノーベル賞作家であるサラマーゴの晩年に密着したドキュメンタリー。小説の執筆中に重篤な病を得ながらも、書き続けるという強い意志と、愛妻ピラールの支えによって生還を果たす作家の姿を映す。

パパは奮闘中！

Nos batailles / Our Struggles

ベルギー（フランス語）

作品単独：6月12日〜25日

監督：ギヨーム・セネズ
2018年／ベルギー、フランス／99分
フランス語（日本語字幕）

©2018 Iota Production / LFP - Les Films Pelléas / RTBF / Auvergne-Rhône-Alpes Cinéma

家族で幸せに暮らしていると信じていた39才のオリヴィエ。ある日突然、2人の幼い子供を残して妻が家出してしまう。ネット販売の倉庫主任の仕事は残業続きだが、慣れない子供の世話との両立を迫られる。子供たちは母親を恋しがり、妻の大切さに改めて気が付くオリヴィエ。次から次へと巻き起こるトラブルに奮闘しながらも、妻を捜し続けるが、彼女の行方も家出の理由も一向に分からない。そんな時、妻の故郷から一通のハガキが届き、新しい騒動が起きる。

頑固いさんとしあわせな時間

Iloisia aikoja, Mielensäpahoittaja / Happier Times, Grump

フィンランド

作品単独：6月12日〜25日

監督：ティーナ・リュミ
2018年／フィンランド／115分
フィンランド語（日本語・英語字幕）

©SOLAR FILMS / MAREK SABOGAL

トゥオマス・キュロの同名小説を映画化したフィンランドの大ヒットコメディドラマ。妻を亡くし生きる意味も失った頑固いさんは死ぬつもりでいた。だが自作の棺も完成に近づいたその時、人生に新たな転機が訪れる。17歳の孫娘ソフィアは、トラブルメーカーだが知恵と暖炉のような温かさを持つ祖父を必要としていた。古い田舎の年寄りと都会の女の子の共同生活は、次第に二人を変えていく。

初

スマグリング・ヘンドリックス

Smuggling Hendrix

キプロス

作品単独：6月12日〜25日

監督：マリオス・ヒベリデス
2018年／キプロス、ギリシャ／92分
ギリシャ語、トルコ語、英語（日本語字幕）

駐日欧州連合代表部選出作品

2004年にEU加盟を果たしたキプロス共和国と、独立を宣言したもののトルコ以外の国に承認されていない北キプロス・トルコ共和国が隣り合っ存在するキプロス島の首都ニコシアは世界唯一の分断首都。お金もなく、恋人にも出て行かれたミュージャン、ヤニスは3日後に国外脱出を計画しているが、愛犬ジミが突然逃げだし、北側に迷い込んでしまう。困ったヤニスは、ジミを連れて帰るため北側に向かう。

ANIARAニアアラ

Aniara

スウェーデン

作品単独：6月12日〜25日

監督：ベラ・コーゲルマン、ヒューゴ・リリヤ
2019年／スウェーデン／106分
スウェーデン語（日本語字幕）

放射能汚染された地球から火星へ移住する8,000人を乗せ旅立った巨大宇宙船ニアアラ号。だが不慮の事故により燃料を失い、目的地への軌道を外れ、宇宙をさまようことになる。修復不能なまま1年、3年と歳月が流れ、希望を失い、狂気へ落ちそうになる乗客たちは、MIMA（ミーマ）と呼ばれる人間の感情を治療・制御するAI（人工知能）に依存するように。

D ミステリアスすぎる個性派たち

バックは6月12日〜23日

初

小さな灯り

La lucina / Distant Light

イタリア

作品単独：6月12日〜25日

監督：ファビオ・バドラート、
ジョニニ・コスタンディーノ
2018年／イタリア／101分
イタリア語（日本語・英語字幕）

森の奥深く、ひとりの男が外界から隔絶され暮らしている。ある日、この孤独な生活に変化が訪れる。夜になると、眼前に広がる暗黒の山々のなか、遠くに小さな灯りが見えるのだ。その灯りの正体を探すうちにある男の子と出会う。ふたりを結び付けるものは何だろうか？

猿

Маймуна / Monkey

ブルガリア

作品単独：6月12日〜25日

監督：ディミタル・コツェフ・ショシヨ
2016年／ブルガリア／93分
ブルガリア語（日本語・英語字幕）

EUフィルムデーズ2018上映作品

17歳のイヴァと12歳のマヤは異母姉妹。大好きな父親が昏睡状態に陥ってしまふと、イヴァは心を閉ざし、病院を避けるように。マヤは毎日父に会いに行き、あの手この手で目を覚まさせようとする。そのころ、姉妹のどある行動が問題となり、2人は退学させられそうになっていた。周囲から、そしてお互いにますます孤立する姉妹。ついにマヤは大胆な計画を思いつく…。

アルデンヌ

D'Ardennes

ベルギー（オランダ語）

作品単独：6月12日〜25日

監督：ロビン・プロント
2015年／ベルギー／93分
オランダ語、フランス語（日本語・英語字幕）

EUフィルムデーズ2016上映作品

兄弟による住居侵入が失敗に終わり、弟のデイヴは逃げ切るが、兄のケネスだけが捕まってしまう。4年後、彼が釈放されるころには、デイヴは堅気の生活を手に入れており、兄の元ガールフレンド、シルヴィと付き合っている。デイヴはケネスに手を差し伸べようとするが、2人の関係は悪化の一途を辿っていく。兄弟の対決を描くサスペンスアクション。

初

ケースのためにできること

Het beste voor Kees / Only the best for our son

オランダ

作品単独：6月12日〜25日

監督：モニック・ノルテ
2014年／オランダ／87分
オランダ語（日本語・英語字幕）

自閉症のケースは44歳。一緒に住む両親が身の回りの世話をしている。両親の愛情でケースは比較的自由に成長したが、現在80歳と83歳の両親がケースの面倒を見られなくなった時のケースの運命は果たして…。ケースの将来のために献身する両親を映画製作者モニック・ノルテが追う。

父から息子へ ～戦火の国より～

Kinder des Kalifats / Of Fathers and Sons

ドイツ

作品単独：6月12日〜25日

監督：タラル・デルキ
2017年／ドイツ、米国、シリア、レバノン、
オランダ、カタール／99分
アラビア語（日本語字幕）

© BASISBERLIN

ベルリン在住のシリア人映画監督タラル・デルキは、本作品の制作にあたりシリア北部の家族に2年半にわたり密着した。シリアで活動するアルカイダの関連組織スラム戦線のメンバーが父親の一家の元に滞在する。観客はあるイスラム主義者のプライベートな側面、息子たちをイスラム国家の戦士に育て上げようとする父親としての側面を目にする。2019年のアカデミー賞にノミネートされた本作は数々の賞を受賞している。

ヴァトレニ ～クロアチアの炎～

Vatreni / Vatreni: A Flame Has Been Fired

クロアチア

作品単独：6月12日〜25日

監督：エドソン・ラミレス
2018年／クロアチア、メキシコ／87分
クロアチア語（日本語字幕）

ユーゴスラビア連邦からの離脱の引き金となったマクシミールスタジアムでの暴動、泥沼の独立戦争、そして初のワールドカップでの国民の期待と歓喜…。激動の日々を過ごしたクロアチア代表の監督、選手たちが重い口を開いた。

F 期間限定バック 6月12日〜18日

バックは6月12日〜23日

バルバラ セーヌの黒いバラ

Barbara

フランス

作品単独：6月12日〜18日

監督：マチュー・アマルリック
2017年／フランス／98分
フランス語（日本語字幕）

© 2017 - WAITING FOR CINEMA - GAUMONT - FRANCE 2 CINEMA - ALICELEO

「黒いワシ」「ナントに雨が降る」などの名曲で知られ、1950年代からシャンソン界の女王として君臨したフランスの伝説的歌手バルバラ。謎に満ちた彼女の人生を演じるひとりの女優とその映画監督は、いつしか愛の迷宮でさまよう。愛に傷つき、愛に悦び、人生を駆け抜けた一人の歌手の魂の歌はやがて、二人をバルバラの人生そのものへと姿を変えていくのだった…。

メモリーズ・オブ・サマー

Wspomnienie lata / Memories of Summer

ポーランド

作品単独：6月12日〜18日

監督：アダム・グジンスキ
2016年／ポーランド／83分
ポーランド語（日本語字幕）

© 2016 Opus Film, Telewizja Polska S.A., Instytucja Filmowa SILESIA FILM, EOI Łódź - Miasto Kultury w Łodzi

1970年代末、ポーランドの小さな田舎町での夏休み、12歳の少年ビョトレックは母と二人きりの時間を過ごす。子どもと大人の狭間で揺れる少年の目を通して描かれる、切なくも忘れられない夏の記憶。当時の音楽やファッション、インテリアにも注目。アダム・グジンスキ監督が自身の体験をもとに作り出した、少年期特有の微妙な心の揺れを、美しくもサスペンスフルに描いた傑作。

リトル・マン

Malý Pán / Little Man

チェコ

作品単独：6月12日〜25日

監督：ラデク・ベラン
2014年／チェコ／84分
チェコ語（日本語字幕）

© BEDNA FILMS

EUフィルムデーズ2017上映作品

2008年にチェコで出版され話題になった絵本を題材にした人形実写。主人公の小さな紳士（リトル・マン）は森の中の家で静かに暮らしている。ある日、自分の人生に欠けているものがあるという夢を見た彼がその意味を求めて旅に出てみると、次々と不思議で魅力的な人物が現れ、冒険が繰り返される。美しい人形とシュールな物語というチェコらしい魅力にあふれた作品。

ブレンダンとケルズの秘密

The Secret of Kells

アイルランド

作品単独：6月12日〜16日

監督：トム・ムーア、ノラ・トゥーミー
2009年／フランス、ベルギー、アイルランド
75分／英語（日本語字幕）

EUフィルムデーズ2011上映作品

僧院に暮らす12歳のブレンダンは、バイキングが襲う中、ある本を描くために魔の森に入る。アイルランドの国宝『ケルズの書』誕生のいきさつがいま明らかに…。『ソング・オブ・ザ・シー 海のうた』のトム・ムーア監督のデビュー作にしてアカデミー賞長編アニメ賞にノミネートされた、息を飲むほどの映像美、幻想的なケルト音楽が感動を呼ぶ長編アニメーション。

ファイナル・カット

Final Cut: Hölgyeim és uraim / Final Cut: Ladies & Gentlemen

ハンガリー

作品単独：6月12日〜25日

監督：パールフィ・ジョルジュ
2012年／ハンガリー／78分
台詞ほとんどなし

EUフィルムデーズ2014上映作品

男と女が出会い、恋に落ち、幸せな結婚をし、やがてすれ違い、別れの時を迎える。いつの時代にも表現されてきた普遍的な物語を、有名な450作品のカットを編集して製作。一世紀に及ぶ映画史を旅するような喜びと映画への愛にあふれた珠玉の作品。

B 20世紀に輝く人物―その真実と嘘

バックは6月12日〜23日

初

ビツレ

Billie

ラトビア

作品単独：6月12日〜25日

監督：イナエラ・コルマネ
2018年／ラトビア、リトアニア、チェコ
110分／ラトビア語（日本語字幕）

のちにヨーロッパの有名な詩人・作家となる少女の、大人への成長を描いたほろ苦くも感動的な自伝的家族物語。ノーベル文学賞候補となったピズマ・ベルシェヴィツァのベストセラー小説をもとに、子供のころの悲しみと興奮を大きなスクリーンへ届ける。監督は「ルッチと宜江」（EUフィルムデーズ2016上映）のイナエラ・コルマネ。

プログラムバック

- A ヨーロッパの遅しうしなやかな女性たち
- B 20世紀に輝く人物―その真実と嘘
- C 家族―悲喜こもごもの物語
- D ミステリアスすぎる個性派たち
- E 覚醒するドキュメンタリー
- F 期間限定バック



「メモリーズ・オブ・サマー」